

事務事業名		愛宕蔵保存活用事業		会計	一般会計		事業種別		政策	開始	17	終了	
課等名	生涯学習・スポーツ課	係等名	地育力向上係										
基本計画上の位置づけ	政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり										
	施策	61	地域資源の発見・資産化										
目的	対象(誰・何を)	愛宕蔵		対象指標	指標名及び単位				24年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	愛宕蔵の活用			愛宕蔵改修・整備箇所数(ヶ所)				1				
	向上させたい上位施策の成果指標	活用できる状態の整った地域資源の数											
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	外観保存のための維持管理			3	3	3	3					
	定性目標												
事業概要	<p>・愛宕蔵は、喜久水酒造株式会社からの申出により、平成16年に飯田市に無償で寄贈された。最も古い建物は、大正6年に建築され、平成8年ごろまで酒蔵として使われてきたもので、「仕込蔵」、「中蔵」、「一蔵」の3つが一体となった蔵と事務所蔵をあわせて延床面積は約1395㎡である。</p> <p>・県内でも最大規模な酒蔵であり、当地方の酒造産業の象徴的な歴史的建造物である。多くの歴史的建造物が大火で失われた旧市街地において、愛宕坂一帯の景観形成に大きな役割を果たしている。貴重な地域資源として、外観を良好な状態で保存し、内部は蔵(収蔵スペース)として活用する。</p> <p>・施設の保存管理に必要な修繕工事を状況に応じて実施する。</p>												
事業内容					名称				活動指標				
24年度事業内容	1 外観保存のための管理 蔵及び駐車場の環境整備				1 実施回数				1 3回				
	2 外観保存のための改修 (1)事務所蔵なまこ壁・基礎・白壁修繕工事の実施 (2)倉庫として必要な消防設備の整備				2 (1)箇所数 (2)消防用設備				2 (1)1箇所 (2)1式				
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		1,265	2,630	2,611	1,223								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		1,265	2,630	2,611	1,223								
人件費計(千円)②		143		143									
正規職員所要時間		40		40									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		1,408	2,630	2,754	1,223								
事業内容・目標達成状況の振り返り	蔵内部は収蔵スペースとして利用し、傷みの激しい外壁の補修工事を実施した。また、防火対象物として必要な消防用設備を設置した。市民等の絵画写生、写真撮影のスポットとして親しまれている。												
改革改善の考え方	①問題点	古い建築物であり外壁(漆喰、なまこ壁)の損傷が見られるようになってきている。											
	②改革提案	外壁の補修を計画的に実施できるようにし、外観保存に努めていく。											